

# おすすめレシピ『鱈バーグのスイートチリソース』

管理栄養士 本田 直子

一年中ある魚ですが、鱈の旬は初夏から7月ごろです。

いつもとはちょっと違った風味で食べてみませんか？パンに挟んでもおいしいです。揚げずに焼くと、80kcalのエネルギーダウンになります。



## 【材料（二人分）】

鱈（三枚におろしたもの）	120g
片栗粉	3g
卵	5g
食塩	1g
たけのこ	40g
玉葱	40g
きくらげ	1g
しょうが	2g
揚げ油	適量
付け合わせ野菜（レタス、トマト）	

1人分 208kcal 塩分 0.7g

## 【作り方】

鱈は皮をとって3センチ角程度に切り、フードプロセッサーにかけるか、粗くきざんでから包丁で細かくたたき、すりみ状にする。

を加えて練り混ぜる。

たけのこ・玉葱は粗みじん切り、もどしたきくらげ・しょうがもみじん切りにしてに加えて混ぜ合わせ、小判型に整える。

油を熱し（170～180℃）、揚げる。

スイートチリソース	
・酢	10g
・みりん	10g
・ケチャップ	6g
・砂糖	6g
・豆板醤	3g
（好みで加減）	
水溶き片栗粉	

## 国保水俣市立総合医療センター

〒867-0041  
 熊本県水俣市天神町1丁目2番1号  
 TEL 0966-63-2101  
 URL <http://minamata-hp.jp/>  
 診療受付時間 午前 8時～午後3時まで  
 面会時間 平日 午前11時～午後1時  
 午後 3時～午後8時  
 休日 午前11時～午後8時  
 休診日 土・日・祝日・年末年始

## 交通のご案内

### みなくるバス

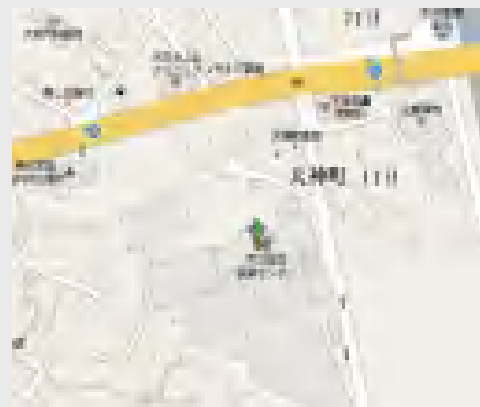
停留所が病院の玄関前と浜グラウンド側にありますのでご利用下さい。

### 九州新幹線

新水俣駅から車で5分です。

### 肥薩おれんじ鉄道

水俣駅から徒歩15分  
 車で5分です。



# ふれあい

No.15 2010年7月

国保水俣市立総合医療センター



病院事業管理者・院長 坂本 不出夫

国保水俣市立総合医療センターは、平成22年4月1日より「地方公営企業法」の全部適用に移行しました。

私たちにとって病院機能及び経営の安定化という責任をこれまで以上に感じながらのスタートですが、住民の皆さまにはこれまでどおりの24時間救急医療を維持できる急性期病院として存続させる努力を今後も続けていきますので、ご安心ください。

過疎化の進む地域の医療は、医師確保などの問題もあり医療崩壊という大きな社会的・政治的問題となっているのはご存知のとおりです。

限られた医療資源を有効に連携させるため病院機能分化が進められています。

医療センターも急性期病院としての存在をより明確にするため、県境を越えた生活圏を含む医療・福祉・保健機関との連携を強化しながら、「地域医療支援病院」認定を目指していきます。

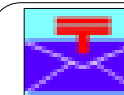
地域住民の皆さまには、ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

【院 是】

# 仁愛

【病院理念】

- ・患者中心の医療
- ・安全で高度な医療
- ・地域との連携
- ・環境保全
- ・健全経営



入院中の患者様へお見舞いメールを書くことが出来ます。

詳しくは、国保水俣市立総合医療センターのホームページをご覧ください。

<http://minamata-hp.jp/>

【ビジョン】 地域の中核病院として、急性期医療を中心に高度で安全な医療を提供するとともに経営的にも自立した患者に選ばれる病院を目指す

## 第5回地域医療連携懇話会が開催されました

第5回地域医療連携懇話会が5月21日開催されました。

この懇話会は、水俣芦北及び、北薩地域等近隣住民の方々に支えられております自治体病院として、水俣芦北郡医師会、出水郡市歯科医師会、伊佐市医師会、伊佐市歯科医師会、薩摩郡歯科医師会などの医療機関と役割を分担し補完しあう事で、安心して安全な医療圏を形成していくことを目的として開催されています。

懇談会では宮本市長の挨拶の後、病院事業管理者坂本院長の挨拶と続き、来賓を代表して水俣市芦北郡医師会の緒方会長より挨拶を頂きました。

今年の講演は最初に、去年の糖尿病内分泌センター西田所長のあとを受けて、代謝内科医長藤澤先生による「出水地区との糖尿病連携医療について」。

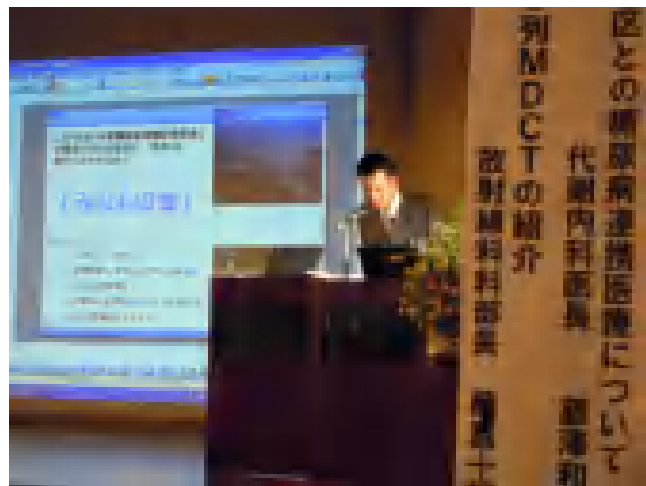
次に放射線科科部長楠先生による、5月導入の最新機器「128列MDCTの紹介」として講演いただきました。

進行は丸山副院長で両講演とも参加者の関心が高く、熱心に聴講いただきました。

第二部では、水俣芦北郡市歯科医師会の若江会長より乾杯のご発声をいただき、懇談へと移りました。

途中、今年4月に転入された11人の医師の先生方の紹介も行われ、和やかな雰囲気の中で情報等の交換が行われました。

最後に山内副院長の閉会の挨拶をいただき終了となりました。



代謝内科医長 藤澤 和夫医師



放射線科科部長 楠 真一郎医師



## 入院患者満足度アンケート結果

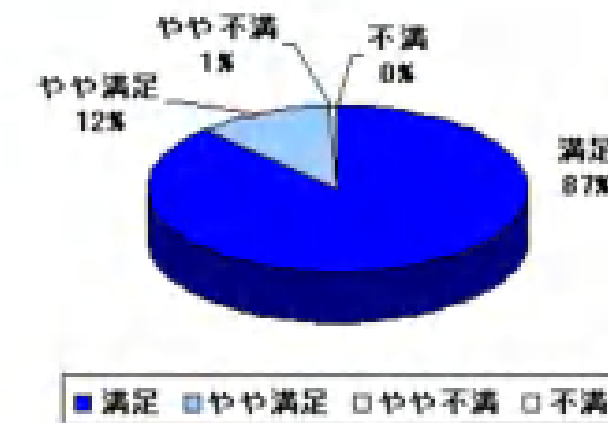
当センターでは、毎年入院患者様へ、満足度調査を実施しております。

今年も、多くの患者様のご協力のもと調査を実施することができました。

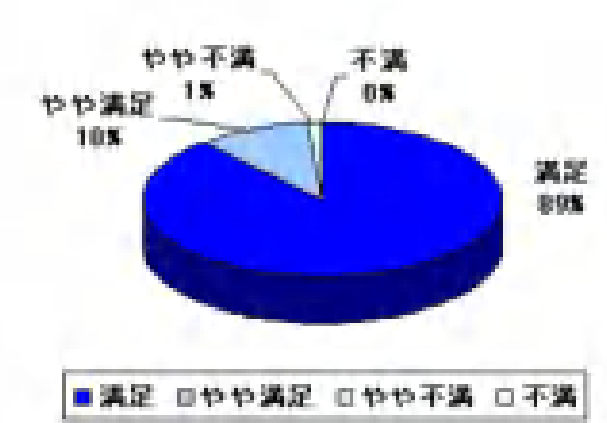
調査結果の一部を掲載いたします。

なお、この調査結果を踏まえ、より一層患者様に満足していただける病院を目指し、職員一同努力してまいります。

医師の対応について



看護師の対応について



## 最新型128列CT装置の稼働が開始されました

放射線科では最新型CT装置の稼働を開始しました。

県下では、杉村病院、国立熊本病院について3番目の導入であり、トップクラスの性能を有する最新型128列MDCTは、一回転最速0.3secにて最大128列のデータサンプリングが可能となっています。

これにより、動きの速い心臓冠動脈の抽出（数秒）や従来の全身の検査撮影時間も短縮されます。また3D立体画像構築はもちろん、身体の動きも画像化する4Dスパイラルも実装されています。

さらにAZEネットワーク型ワークステーションシステムを有し、院内端末から同時8台での画像処理・構築を行うことで、Dr独自の3D構築等が可能となり、OP支援等に威力を発揮すると考えます。

